Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

社会医学系専門医協会　ニュースレター2026 年秋号　コンテンツ

- 「第 96 回日本衛生学会学術総会」のご報告
- 「第 99 回日本産業衛生学会」のご報告
- 「第 58 回日本医学教育学会学術大会」のご報告
- 「第 37 回日本疫学会学術総会」のご案内
- 「第 97 回日本衛生学会学術総会」のご案内
- 「第 100 回記念日本産業衛生学会」のご案内
- 社会医学系専門医制度　講習会情報
- 社会医学系専門医制度　今年度更新案内
- 事務局からのお知らせ
- 編集後記

学会開催のご報告

第 96 回日本衛生学会学術総会のご報告

第 96 回日本衛生学会学術総会 大会長
獨協医科大学　医学部公衆衛生学講座
小橋　元

第 96 回日本衛生学会学術総会を、2026 年 3 月 19 日から 21 日までの 3 日間、栃木県総合文化センター（宇都宮市）にて開催いたしました。全国から約 700 名の皆様にご参加いただき、8 つの講演、12 のシンポジウム、約 250 題の一般演題に加え、自由集会や若手企画などを通じて活発な議論と交流が行われました。

今回のテーマは「繋ぐ　～総合知で人の生をまもる～」です。人々の健康を守るためには、個々の専門分野を深めるだけでなく、研究と実践、医療と地域、さらには多様な学問領域を結びつける視点が欠かせません。衛生学と社会医学に共通する、こうした思いを込めました。

象徴的な企画の一つが、日本国際保健医療学会と共に開催したメインシンポジウム「足尾銅山から世界へ」です。田中正造の取り組みを手がかりに、地域の環境・健康課題を世界的な視野で捉え直し、現代の社会実践を考えました。また、日本災害医学会と連携したワークショップでは、衛生学と災害医学の接点から健康危機管理を担う人材育成について議論しました。日本学術会議と連携した市民公開講座では、環境化学物質の健康影響と生活環境のあり方を取り

上げました。いずれも、学会や専門分野の垣根を越えて「繋ぐ」ことの意義を実感する機会となりました。

もう一つ、強く心に残っているのは、人と人との繋がりです。参加者の方々からは、事務局の心遣いや、教室のメンバー・学生が楽しそうに運営する姿を温かく評価していただきました。学術的な議論に加え、互いの顔が見える交流こそ、新たな協働の出発点になるのだと思います。

複雑化する健康課題に向き合う社会医学系専門医にとっても、異なる知を繋ぎ、現場の実践へと結びつける姿勢がますます重要になると感じています。本総会にご参加、ご協力くださった皆様に、心より御礼申し上げます。



写真 1. 運営スタッフ集合

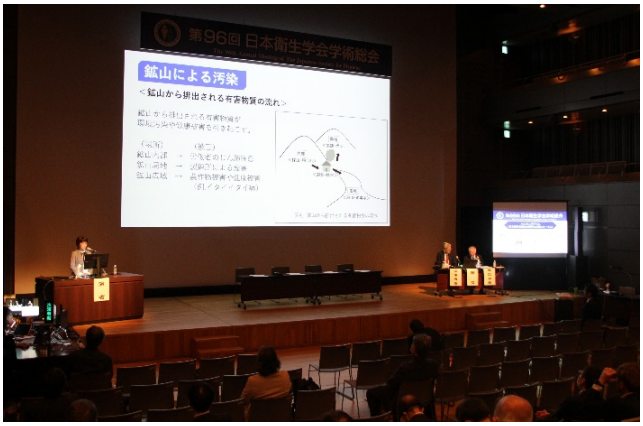


写真 2. 足尾銅山メインシンポジウム



写真 3. 懇親会

Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人 社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

第 99 回日本産業衛生学会(大阪)開催報告


林 朝茂


森口 次郎

第 99 回日本産業衛生学会
企画運営委員長
林　朝茂(大阪公立大学大学院医学研究科産業医学)
森口　次郎(森口産業医事務所)

第 99 回日本産業衛生学会は、「すべての働く人への産業保健―実践と学術の協働で挑む―」をテーマに掲げ、2026 年 5 月 27 日から 30 日まで大阪国際会議場で開催され、オンデマンド配信も実施いたしました。参加登録者数は 7,004 人に達し、過去最高を記録し、会場では活発な討論と交流がみられ、盛況のうちに終了いたしました。

本学会の大きな特徴は、53 年ぶり 2 回目となる 2 人の企画運営委員長体制を採用したことです。多様化する産業保健の課題に対し、実践と学術の双方の視点を反映するうえで有効であったと考えております。また、企画運営委員会が主体となってシンポジウムや教育講演を立案し、一貫したメッセージを持つプログラム構成を目指しました。

「すべての働く人」への産業保健を具体化するため、メインシンポジウム 2、教育講演 6、地域交流集会では、フリーランスや建設業一人親方を取り上げ、雇用関係を前提としない働き方への支援のあり方を議論いたしました。

また、産業保健現場に直結する疫学的エビデンスの重要性を示すことにも力を注ぎ、メインシンポジウム 1、3、5 では、日本人における生活習慣病発症予防に関する知見を中心に、家庭血圧、2 型糖尿病、運動、飲酒、喫煙、肥満、がん、循環器疾患などについて、実務に生かしうる最新の疫学的知見を紹介し、質の高い科学的根拠に基づく判断の重要性を共有できたものと考えております。

国際化の取り組みとして、本学会初の一般演題英語セッション「International Session」を実施し、当初予定の 4 倍に及ぶ演題が集まりました。また、国際特別講演では Edward J. Boyko 先生、David Koh 先生をお迎えし、国際的視野から貴重な知見を共有いただきました。

さらに、山口達也氏をお招きした特別企画などを通じて、依存症と孤独の関係、アルコール依存症、回復支援について多角的に取り上げました。また、復職・就業措置の判断に難渋する事例検討会を 3 日連続で開催し、産業保健現場に直結する実践的な学びの機会を提供いたしました。

Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

第 99 回日本産業衛生学会は、対象の拡張、実践と学術の接続、国際発信の推進、社会課題への応答を同時に進めた学会であったと総括しております。本学会の成果が今後の学会活動や産業保健実践に生かされることを期待しております。



学会会場の案内



メインシンポジウム会場

Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

社会医学と医学教育の接点から未来を考える
― 第 58 回日本医学教育学会学術大会を終えて ―

第 58 回日本医学教育学会学術大会 大会長
富山大学医学教育学講座 教授
高村 昭輝

人口減少、少子高齢化、医師偏在、そして急速に進化する AI。日本の医療が大きな転換期を迎える今、私たちはどのような医療者を育てるべきなのでしょうか。

医学的知識や診療技術に優れるだけでなく、人々の暮らしや地域社会を理解し、複雑な健康課題に向き合える医療者の育成は、医学教育と社会医学に共通する重要な使命だと考えています。

2026 年 7 月 31 日から 8 月 2 日まで、富山市において第 58 回日本医学教育学会学術大会を開催しました。全国から 1,900 名を超える医療者、教育者、研究者、学生の皆様にご参加いただきました。

大会テーマは「Beyond your Boundaries and Expectations」。専門領域、職種、組織、さらには既存の価値観や教育の枠組みを越え、医療者教育の新たな可能性を探ることを目指しました。

特に重視したのは、医療者教育を大学や病院の中だけで完結させず、地域社会との関係の中で捉え直すことです。長期地域医療実習（LIC）の先駆者である David Hirsh 氏、Paul Worley 氏を迎え、地域で患者や住民と継続的に関わりながら学ぶ教育の意義と可能性を議論しました。また、実践共同体（Communities of Practice）の理論で知られる Etienne Wenger 氏には、AI 時代における人と人との関係性を通じた学びについてご講演いただきました。

さらに、認知科学の今井むつみ氏、企業の人材開発に携わる滝波純一氏、世代間の価値観を研究する金間大介氏ら、医学教育の枠を越えた多彩な専門家を招聘し、学びの本質や人材育成のあり方を多角的に考える機会としました。地域医療を担う人材育成、医師偏在、多職種連携、生成 AI などについても活発な議論が交わされました。

医療者教育とは、単に優れた医療者を育てることではなく、その医療者が活躍する地域や社会の未来を創る営みでもあります。社会医学と医学教育がさらに連携し、地域の健康課題を教育に反映させるとともに、教育を通じて社会を変えていくことが重要だと考えています。

本大会が、そのための新たなつながりと挑戦の契機となれば幸いです。ご参加、ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

＜開催案内＞

第 37 回日本疫学会学術総会

会期: 2027 年 2 月 3 日(水)～5 日(金)
会場: シェーンバッハ・サボー(東京都千代田区)
テーマ: 次世代へつなぐ疫学エボリューション
会長: 井上　真奈美(聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科　研究科長・教授／国立がん研究センターがん対策研究所　客員研究員)
ホームページ: https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jeatokyo37
運営事務局: 第 37 回日本疫学会学術総会　運営事務局(株式会社勁草書房　コミュニケーション事業部内)
〒112-0005　東京都文京区水道 2-1-1
電話:03-3814-7112　Fax:03-3814-6904
E-mail:jea37(at)keiso-comm.com
(スパムメール防止のため、(at)を@マークにしてください。)



Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

第 97 回日本衛生学会学術総会

会期: 2027 年 3 月 10 日(水)～12 日(金)
会場: 大阪市中央公会堂(〒530-0005 大阪市北区中之島 1 丁目 1 番 27 号)
テーマ: 継承と発展 ～衛生学の新たな時代へ～
学会長: 東 賢一(近畿大学医学部予防医学･行動科学教室 教授)
ホームページ: https://www.knt.co.jp/ec/2026/jsh2027/
大会事務局: 近畿大学医学部予防医学･行動科学教室
〒590-0197 大阪府堺市南区三原台 1 丁 14 番 1 号
TEL:072-288-7222(代表)内線 2023 E-mail:jsh97(at)med.kindai.ac.jp
運営事務局: 近畿日本ツーリスト株式会社 西日本法人支店
〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-4-38 近鉄新難波ビル 7F
TEL:06-6635-2627 E-mail:jsh2027_6670(at)or.knt.co.jp
(スパムメール防止のため、(at)を@マークにしてください。)



Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人 社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

第 100 回記念日本産業衛生学会

会期: 2027 年 5 月 26 日(水)～5 月 29 日(土)
※2027 年 5 月 30 日(日)に産業医研修会は実施いたしません。
会場：北九州メッセ、アジア太平洋インポートマート(AIM)
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目 8 番 1 号
北九州国際会議場
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目 9 番 30 号
西日本総合展示場 本館
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目 7 番 1 号
ミクニワールドスタジアム北九州
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-9-33
テーマ: 変わる職場、変わらぬ使命 ―産業衛生 100 回大会からの挑戦―
企画運営委員長: 堀江 正知(産業医科大学 学長)
ホームページ: https://convention.jtbcom.co.jp/sanei100/
運営事務局：株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション事業局
〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目 1 番 27 号 大阪堂島浜タワー5 階
TEL: 06-4964-8869 E-mail: sanei100(at)jtbcom.co.jp
(スパムメール防止のため、(at)を@マークにしてください。)



Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

＜重要なお知らせ＞

＜社会医学系専門医制度　講習会情報＞

　社会医学系専門医に関する説明会や講習会の予定をご案内いたします。お申し込み等の詳細につきましては、下記ホームページをご参照ください。

一般社団法人 社会医学系専門医協会 HP
http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/

開催予定の講習会

（スパムメール防止のため、(at)を@マークにしてください。）

【2027 年 6 月】

学 会 名	第 66 回日本消化器がん検診学会総会
タ イ ト ル	教育講演・社会医学系セミナー　検診・健診データを用いた臨床研究のみちしるべ
日　　時	2027 年 6 月 26 日(土)11:00～12:00
場　　所	パシフィコ横浜　会議センター
問合せ先	info(at)jsgcs.or.jp
単 位 数	共通講習【医療倫理(臨床倫理、研究倫理、生命倫理)】K-1 単位

【2026 年 12 月】

学 会 名	厚生労働省東京検疫所
タ イ ト ル	検疫感染症措置訓練
日　　時	2026 年 12 月 18 日(金)14:00～16:00
場　　所	晴海客船ターミナル
問合せ先	toukyoukeneki-soumuka(at)mhlw.go.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-2 単位

学 会 名	横浜港保健衛生管理運営協議会
タ イ ト ル	令和 8 年度横浜港感染症対策総合訓練
日　　時	2026 年 12 月 10 日(木)14:00～16:00
場　　所	よこはま新港合同庁舎　3 階　会議室
問合せ先	yokohamakenekisho-kenekieisei(at)mhlw.go.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-2 単位

学 会 名	令和 8 年度第 2 回阪神地区感染症懇話会講演会
タ イ ト ル	COVID-19 対応の振り返り～行政と医療機関の立場から～
日　　時	2026 年 12 月 4 日(金)14:00～17:00
場　　所	大阪府新別館北館 4 階多目的ホール
問合せ先	oosakakenekisho-soumuka(at)mhlw.go.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-2 単位

学 会 名	第 74 回日本職業災害医学会学術大会
タ イ ト ル	感染症危機にどう備え、どう向き合うか ―リベリアにおけるエボラ対策の経験から考える支援者の安全と健康―
日　　時	2026 年 12 月 3 日(木)13:00～14:00
場　　所	仙台国際センター展示棟
問合せ先	jsomt74(at)tohoku-kyoritz.co.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1 単位

学 会 名	日本職業・災害医学会
タ イ ト ル	社会医学系専門医協会の最近の動向と活動 2026
日　　時	2026 年 12 月 3 日(木)10:30～11:30
場　　所	仙台国際センター展示棟
問合せ先	jsomt74(at)tohoku-kyoritz.co.jp
単 位 数	指導医講習　1 単位

学 会 名	日本職業・災害医学会
タ イ ト ル	第 74 回学術大会指導医講習会 社会医学系専門医協会の最近の動向と活動 2026
日　　時	2026 年 12 月 3 日(木)13:00～14:00
場　　所	仙台国際センター展示棟
問合せ先	jsomt74(at)tohoku-kyoritz.co.jp
単 位 数	指導医講習　1 単位

【2026 年 11 月】

学 会 名	第 41 回日本国際保健医療学会学術大会(グローバルヘルス合同大会 2026)
タ イ ト ル	海外渡航における海外感染症情報の収集・共有・利活用ー行政と医療現場、そして渡航者をつなぐ観点から
日　　時	2026 年 11 月 28 日(土)10:50～12:20
場　　所	大宮ソニックシティ 601 会議室
問合せ先	jbphsm(at)jagh.or.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1 単位

学 会 名	第 41 回日本国際保健医療学会学術大会(グローバルヘルス合同大会 2026)
タ イ ト ル	指導医講習会
日　　時	2026 年 11 月 28 日(土)17:10～18:10
場　　所	大宮ソニックシティ 604 会議室
問合せ先	jbphsm(at)jagh.or.jp
単 位 数	指導医講習 1 単位

学 会 名	第 41 回日本国際保健医療学会学術大会(グローバルヘルス合同大会 2026)
タ イ ト ル	世界的流行時の麻疹輸入リスク評価:血清疫学データを予防接種政策にどのように生かすか
日　　時	2026 年 11 月 27 日(金)15:30～17:00
場　　所	大宮ソニックシティ 602 会議室
問合せ先	jbphsm(at)jagh.or.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1 単位

学 会 名	厚生労働省 関西空港検疫所
タ イ ト ル	関西国際空港検疫感染症措置訓練
日　　時	2026 年 11 月 26 日(木)13:15～16:30
場　　所	関西空港検疫所(CIQ 合同庁舎 4 階会議室)
問合せ先	kankuukenekisho-soumuka(at)mhlw.go.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-2 単位

学 会 名	福岡検疫所
タ イ ト ル	令和 8 年度福岡検疫所福岡空港検疫所支所検疫感染症措置訓練
日　　時	2026 年 11 月 25 日(水)13:30～15:30
場　　所	福岡空港国際線 CIQ 棟 1 階共用会議室
問合せ先	fukuoka-apQ(at)mhlw.go.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-2 単位

＜社会医学系専門医制度　今年度更新案内＞

『2026 年度版』専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）が公開されております。

http://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/

なお、専 18-及び指 18-、専 19-及び指 19-から始まる認定番号をお持ちの先生方は、今年度が更新申請の最終期限となります。11 月 30 日が提出締切となりますので、ご留意ください。

専 20-及び指 20-から始まる認定番号をお持ちの先生方は、今年度が 3 回目の延長申請となります。

今年度延長申請いただいた場合、来年度が更新申請の最終期限となりますので、ご留意いただきますようお願い申し上げます。

更新申請に関するお問い合わせはメールのみで受付しております。返信までお時間いただく場合もございますので、お時間に余裕をもってお問い合わせください。

※お電話でのお問い合わせは一切受付いたしかねますので、ご容赦ください。

＜更新に関するお問い合わせ＞

件名：2026 年度更新について

Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

＜社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ＞

【講習会について】

単位取得可能な講習会情報を下記のページに掲載しております。

http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/

各講習会に関するお問い合わせは、掲載しております問合せ先にご連絡ください。

【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、会員専用ページよりご変更ください。

下記 URL 上部「会員マイページログイン」のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/

会員専用ページへのログインにはログイン ID（会員番号）/パスワードが必要となります。

パスワードがご不明な場合は、「パスワード問い合わせ」からお問合せください。

ログイン ID（会員番号）は、年間登録料の請求書摘要欄に記載がございます。

上記ご不明な場合は、下記の要領にて協会事務局（jbphsm@asas-mail.jp）までご連絡ください。

＜ログイン ID/PW に関するお問い合わせ＞

件名：社会医学系専門医協会：ログイン ID 照会（会員ページログインのため）

①氏名

②ご所属先

③生年月日（19XX/●●/△△）

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送させていただきます。

【記載事項】

・会員様のお名前

・会員番号

・お支払いいただいた金額

・何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【登録情報変更に関する問い合わせ、請求書、領収書発行依頼先】

Japan Board of Public Health and Social Medicine
一般社団法人
社会医学系専門医協会
Newsletter
Vol10. No.3
2026. Autumn

社会医学系専門医協会　事務局
E-mail：jbphsm(at)asas-mail.jp（スパムメール防止のため、(at)を@マークにしてください。）
FAX：03-5981-6012

＜編集後記＞

今号では、社会医学に関連する各学会の学術総会の報告や、今後の開催案内などをお届けしました。

私自身、最近、社会医学系の学術総会の企画・運営に複数携わる機会があり、学会を開催することの難しさを改めて実感しています。特に、運営費を支える協賛企業の確保、会員からの演題登録の促進、そして参加者をいかに増やすかという課題は、いずれも容易ではありません。学会を支える関係者の皆様のご尽力には、改めて敬意を表したいと思います。

一方で、オンラインでの情報共有や研究成果の発信が容易になった今日、学術総会に求められる役割も変化しつつあります。最新の知見を学ぶだけでなく、異なる専門領域の研究者や実務家が出会い、議論し、新たな連携が生まれることに、対面で集う大きな価値があると感じています。

社会医学は、研究成果を社会の課題解決につなげる学問領域です。その特性を生かしながら、学術総会の価値を守り、次世代の会員にも参加したいと思ってもらえる場を、持続可能な形でどのようにつくっていくか。学会運営に携わる一人として、今後も考えていきたいと思います。
（編集担当理事　吉村健佑）